

ヴォックス音楽吟詠会



第64号 平成29年4月20日発行
会員ニュース 広報委員 谷口松華

平成29年度第8回総会開催される



去る3月16日(木)第8回の総会が、中部地区担当により名古屋クラウンホテルを会場に、開催されました。

当日は好天に恵まれ、有意義な一日となりました。

午後1時50分開会となり、事務総局からの「報告」・「提案」は全て承認されましたので、ご報告いたします。

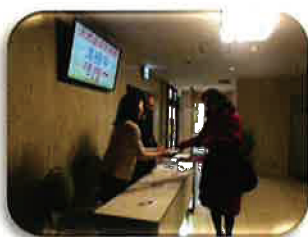
出席者は、27名(委任状提出52名)でした。

出席者の内訳は、以下の通りです。

東京2名、近畿1名、群馬1名、信越2名、神奈川3名

播磨6名、西中国1名、中部11名

草薙典龍会長のもと、一致団結して務めますので、変わらぬご支援
ご理解を賜れば幸いです。



全国各地からの
の会員受付



草薙会長
挨拶



各委員の
事業・収支
等報告



各委員より説明の後質疑応答

会長より議案説明

質疑応答の後全ての議案が原案通り承認されました

本会議終了の後懇親会が開催されました



浜田先生お話が弾みます

播磨地区松井賀鶴先生の乾杯で開宴

29年度も互いに頑張りましょう

時の経つのも忘れる程に宴会も楽しく終宴と成りました

草薙典龍総本部長新年度挨拶



平成29年度を迎え皆様様良いお年をお過ごしの事とお喜び申し上げます。昨年は日本列島を地震や台風が相次ぎ、被害に遭われた方々にはお見舞い申し上げます。

早いもので平成25年西中国地区本部長の本田天水先生のお世話で岩國国際ホテルでの総会で第3代会長をお受けしてから5年目の春を迎えました。ヴォックスの今日の繁栄は日本吟界で著名な今は亡き先達、作曲家大野恵造、無形文化財田宮流14代宗家妻木正麟、伊勢の日本吟道奉賛会会長三宅正洲、吟詠新風社大井清、鴻水流清水源翁、諸先生が顔を連ね南雲一廣創始者を尊敬して支えられたのです。そして今、創立以来積極的に本会を支えて来られた重鎮、群馬地区本部長国分国壮先生が天に召されました。私が会長の翌年群馬のホテルメトロポリタン高崎での総会をお世話頂き、お元気な国分先生のお婆が偲ばれてなりません。衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

さて私が会長に就任して毎年名古屋での文部科学大臣賞受賞の全国決勝大会、会長3年目の27年に創立35周年全国名流の集いを千九百年の歴史ある熱田神宮会館で開催させて頂きました。また、会長就任以来、東京コンクールを府中で開催に漕ぎ着け、4年にわたりお世話いただいた多田羅心龍、森山義鴻先生の支えが東京地区本部再建の礎です。厚く感謝します。昨年再建の東京地区本部長には私の吟友で

吟界で著名な福田劔鵬先生にお引き受け頂きました。東京地区本部再建は私だけでなくヴォックス音楽吟詠会の大きな力になると存じます。

終わりに私事で恐縮ですが、私の吟道70周年の記念として「一筋の光愛吟詠集」を作成しました。お聴き頂ければ幸いに存じます。29年度新しき酉年に当たり会長のご挨拶と致します。本年も何卒宜しくお願い申し上げます。



新年度にあたり小芝誠範事務総長挨拶

平成25年より事務総長を拝命し、5年目を迎えることとなりました。

日頃は、ヴォックス音楽吟詠会に暖かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

ヴォックス音楽吟詠会も、会員諸先生のご理解のおかげで、例年恙なく事業を遂行させて頂いており重ねて御礼申し上げます。

諸事業においても、事業委員はじめ事務総局員一体となってがんばっております。

見直すべきは見直し、事務総局運営に力を注ぎます。

継続は力なり・マナーに陥ることなく・精進したいと思います。

今後のご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

平成28年度ヴォックス音楽吟詠会

第37回全国吟詠コンクール決勝大会

平成28年10月2日(日)名古屋教育センターホールに於いて全国地区大会を勝抜いた129名と9組(合吟)の吟者が優勝トロフィーを目指し競い合いました



全国からの出演者
受付

開会挨拶
森聲華大会副会長





尺八-柴田尚光先生・お琴伴奏-小森伸子先生



国歌斉唱 松井賀鶴播磨地区本部長



会詩斉唱 浜田天翠近畿地区本部長



参加者全員で国歌・会詩大合吟

いよいよコンクール開始です



今日一日審査をして頂く先生方



いよいよ競吟開始です
優勝目指し緊張せずに頑張りましょう



各地区本部長先生方も登壇され
わくわくどきどき結果発表です



熱吟結果の喜びの表彰状況

優勝・準優勝の喜びの皆さん

第一部優勝 中部地区代表 石川優美



私は、小学校三年の時に詩吟を始めました。最初は全然声が出ていませんでした。発声練習をしていくうちにだんだん声が出てくるようになり、今の大きな声へと成長しました。4年生からバスケット部に入り、応援などの時に大声を出していました。この大声が出るのは詩吟の先生のおかげです。ゲームにも出させてもらったのも詩吟のお陰です。詩吟だけではなくJPOPの歌も、上手に歌える様になり学芸会のオーディションでも主役になり、最初と最後ともソロで歌わせもらえ本当に嬉しかったです。

私が入った時は多数の人がいたけれど中学に入学のたびに次々とやめていき一人になりましたが、最近4人入ってこれ毎週4人で練習が出来る様になり、みんなで詩吟の伝統を受け継ぎたいです。去年は決勝には進めずくやしかったです。今年は一生懸命練習し優勝する事が出来、本当に嬉しかったです。ありがとうございました。

第二部優勝 西中国地区代表 山本成美



この度は、全国大会という大きな場に出場することが出来、なおかつ優勝という有難い賞を頂きましたことを本当に嬉しく思います。いつも愛のある指導をして下さる矢立鳳山先生

を始め、共に詩吟を学ぶ吟友の皆様のお陰で今日を迎えることができ、深く感謝しております。ヴォックス吟詠コンクールには昨年初めて出場し、残念ながら全国大会には出場することはかなわず、悔しい思いをバネにし、自分に足りないものを少しでも補って練習に取り込みました。仕事に追われて時間が取れなかったり、発声が思うように出来なったりで、焦り過ぎた気持ちは吟に形となってしまおうと感じたので、焦り過ぎず落ち着いて吟じ様と努め今回の大会を迎えました。吟題に選んだ「大田道灌蓑を借るの図に題す」は、初めて触れた思い出のある吟題で有り、緊張せずに吟じる事が出来た結果、全国大会出場が決まり決勝では、会場の雰囲気吞まれず自分の吟をすることが出来た事は本当に良い経験であったと思います。他の方の吟を聞く事がすごく刺激に成り、今回の大会で得た経験、刺激を生かし今後も詩吟を楽しんで続けて行きたいと思ひます。

有難う御座いました。

第三部 優勝及び文部科学大臣賞 群馬地区代表 石原友子 「喜びそして皆に感謝」



優勝、そして文科大臣賞という栄冠に輝く事が出来、とても嬉しく思っています。同時に感謝の気持ちで一杯です。全国大会を目指し頑張っているものの、なかなか壁は厚く、他の人の素晴らしい所を一つでも自分にと研鑽し、ここ数年挑戦して参りました。優勝の二文字がとても遠く感じていました。「どうしてなんだろう、何故なんだろう」と、悩む事だけで前に進めませんでした。漢詩の内容、節調、抑揚と、基本に戻り厳しくそして丁寧にご指導して頂いた関勝風先生には本当に感謝致します。そして的確なアドバイスをして下さる諸先生方にも感謝致します。皆に励まされとても力に成りました。これからもより多くの人々の心に吟が伝わります様一層精進して参ります。大変お世話に成りました。感謝感謝

第三部 準優勝 西中国地区代表 日高 宏



吟歴は16年、今年が還暦です。私にとって吟は、お腹から声を出すストレス解消、まして全国は叶わぬ夢と諦めていました。その私が夢の全国大会に来る事が出来ました。私の隣席には、吟の世界に誘ってくれた友人がいて、共に全国の舞台に立つ事が出来ました。舞台に立つと過度の緊張に押し潰される私が、今回は我を見失うことなく冷静に出来ました。運も味方したのか、三部で準優勝をいただき、大変喜んでおります。不器用な私を辛抱強く、温かく見守っていただいた先生に大変感謝しております。また、吟詠会の皆様からは常に背中を押して頂き本当に有難うございました。この賞を機会に、奥の深い吟道を、更に追求し、心技一体となった吟を演じられるよう精進して参ります。今後共にご指導よろしくお願い致します。

第四部優勝 西中国地区代表 田中 政記



「吟との出逢い」

私が詩吟を始めしたのは十代の頃 その時は何気なく友人に誘われて近くの公民館に行ったのがキッカケでその頃は、まだ時間も十分にあり合宿等も含めて楽しく吟に打ちこんでいましたが、その内に仕事も忙しくなり住居を変った事等から教室も疎遠となりました。それから数十年たったある日に家族の知り合いで吟をやっておられる人の熱心な勧めで吟を再開した訳ですが、以前との流派の違い、節調、アクセント等を指摘され先生の熱い指導の下、また吟の仲間の皆さんの励ましによりそのお陰で色んな大会に出させて貰いました。その結果全国大会に於いて何度か入賞させてもらいましたが、今大会に於いて本人もビックリの予想もしない優勝の栄誉を頂き、これからはこの賞に恥じない様、詩文を良く理解し作者の想いを感じながら吟じて行きたいと思っています。この度は本当に有難うございました。

第四部準優勝 東京地区代表 星名 美知子



この度の大会に於いて、準優勝の賞をいただき光栄に思います。これもご指導して頂いた、佐藤旭峰先生のおかげと感謝申し上げます。ヴォックス音楽吟詠コンクールへは

3回挑戦し、運よく3回共決勝への出場となりました。1回目は会場にのまれて終わりました。茨城から夜行バスに乗り早朝名古屋駅に着き、そして会場へと、今回は洋服でしたが、着替えをしながら声だしと、早い出番に挑戦しました。前回よりも一段でも上位に入ればと思いながら吟じ終えて安堵していました。結果発表「準優勝」ただ驚きと喜びで一杯です。ますますの勉強、練習と精進していきたいと考えております。有難う御座いました。役員の方先生方に厚く御礼申し上げます



第五部優勝 近畿地区代表 和久田ノリ子



伝統ある第37回ヴォックス音楽吟詠会全国大会に出場させて頂きました。思いがけなく第5部での優勝を私の会派日本吟道岳龍会に嬉しい報告が出来ました。諸先生方大変喜んで頂き感謝の気持ちで一杯です。吟を始めて28年ですが、まだまだ勉強途中です。この優勝に恥じない様にこれからも吟道に精進して、先生方のご指導の下、努力して行きたいと思っております。この大会でお世話頂きました諸先生に厚く御礼申し上げます。有難う御座いました。

第五部準優勝 西中国地区代表 寺尾幸子



今回、思いがけず全国大会第五部で準優勝を頂き、誠に光栄に思うと同時に感謝の気持ちで一杯です。地元広島に帰り、田中象山会長より丁度65周年記念大会の為に集まっていた役員の皆様の前で、ヴォックス全国大会で、準優勝されましたと発表して頂き、吟仲間の皆さんから大拍手を受け、改めて嬉しさが湧いてきました。ヴォックスは伴奏が私の大好きな尺八と琴なので少しでも詩心が出るように念しながら落ち着いて吟じることが出来ました。思えば買い物に行ったスーパーの前で詩吟に入りませんか！と言う張り紙を見つけ入会したのが私の詩吟人生の始まりで、良き先生方、諸先輩、友達に恵まれたお陰でこの様な嬉しい賞を頂きました。誠に有難う御座いました。今後も優勝を目指して、益々精進し、技量向上に務めて参りたいと思っておりますので、今後共変わらぬご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。皆さま大変有難う御座いました。

第六部優勝 群馬地区代表 柴崎栄子・櫻井めぐみ 高宮久子・田村佑子・松岡陽子



このメンバーの内二人は独吟で、少年及び青年の部で二回優勝の経験を持っていますが、合吟では数回全国大会に出場致しましたが、なかなか良い結果が得られませんでしたので一生懸命練習しました。五人が一斉に発声し同じ声量で、詩情を伝える難しさを痛いほど経験して居りましたので、優勝は135番と発表された時耳を疑いました。そして互いに確かめ合い手を取り合って喜びました。当日長時間審査して下さいました審査委員の先生方のご苦勞と、この様な評価を下された事に感謝申し上げますと共に、この喜びを糧に今後一層精進致したいと思っております。本当に有難う御座いました。

第六部準優勝 播磨地区代表 谷口勝己・前川健一 田辺顕嘉・ 丸本善彦・前島守



ヴォックス音楽吟詠会全国吟詠コンクールに於いて、播磨地区での文部科学大臣賞受賞者は過去に十数名いらっしゃいます。私達のグループも先輩先生方の後に続きたいと、これまでに各部

独吟に挑戦をさせて頂いておりました。昨年の地区大会の後「どうや！」1回合吟に挑戦してみようやないかと、言う事で話が一致し、グループ5名が集まりました。やる事なら一同で精一杯頑張ってみようと、各大会の練習の合間を見つけ夕方6~9時と仲間の自営する工場の中で幾度も練習を重ねました。車で1時間もかけて集まって来ました。決勝大会当日勇んで来たものの、会場の名古屋市教育センターに入るとともに会場や他のグループの皆さんに圧倒されてしまいました。それでも、これまで重ねた練習に自信を持って！とグループを励ました。「まず入賞出来たらいいやんね」いや「3位迄には入りたいな」と望みをふくらませて居ましたがまさか！準優勝とは、1回目の挑戦でこの様な幸せに巡り合えるとは、之まで本当に熱心にご指導頂いた先生のお陰です。又毎年大会開催をお世話頂く関係諸先生方に、そして中部地区の先生方にも厚く御礼申し上げたいと思っております。

平成28年度ヴォックス音楽吟詠会総会開催

平成28年3月16日(水)長野市ホテルメトロポリタン長野
にて信越地区担当で開催されました



会場は長野駅前メトロポリタンホテルにて



開催の言葉中山国洲信越地区本部長



国歌・会詩斉唱 山室神奈川・福田東京地区本部長



草薙典龍総本部長挨拶



事業報告 谷口松華委員



会計報告 三ツ谷静楼委員



委員に依る質疑応答



拍手により各議事承認

28年度事業報告・収支報告が質疑応答の後満場一致により承認されました

総会に引き続き懇親会が同ホテルにて開催されました



別府賀雲昌播磨地区事務局長の乾杯にて開宴 和やかな内に懇親会は進みました

信越地区の先生方大変お世話に成り、有難う御座いました

祝 吟剣詩舞大賞を受賞

ヴォックス音楽吟詠会相談役の岡田岳龍先生
が栄誉ある大賞を受賞されました



平成28年晩秋(財団)日本吟剣詩舞振興会より、第48回全国吟剣詩舞道大会に当たり、第12回吟剣詩舞道大賞(功労賞)の受賞者として選考決定の知らせを受け10月30日(日)に東京の武道館での記念式典に出席し受賞の栄を頂きました。

当日は紋付き羽織袴でとのことですが93歳の老骨には無理と辞退欠席を回答したのですが、武道館を熟知する娘(岡田桜幻)が夫と共に付添い着付け一切をしてくれたので、安んじて受賞して参りました。

財団会長・菅原道雄先生お手ずからの表彰額に続き、オリンピック並の赤いリボンと金メダルを肩から掛けて頂き暗れがましく帰って参りました。

此の栄誉は昭和26年に戦後途絶えていた詩吟道の復興を願い詩吟の会を発足して以来、70余年に及ぶ我会のみならず、参画して来た関連諸団体はもとより故南雲一広先生以来のご縁、ご交誼を頂く諸先生や吟友の方々に対し、いささかの面目を施し得た成果かとも思い改めて感謝申し上げる次第です。 ありがとうございます。

ヴォックス音楽吟詠会会長・一筋の光 吟詠集CD完成のご案内

ヴォックス草薙会長が吟道70周年を記念してのCDです。
会長の解説入り構成で綴る「一筋の光・愛吟詠集」です。
ヴォックス創設者 作曲家-南雲一廣作品集『歌謡吟詠』徳川
家康遺訓(カラオケ付き)・椰子の実・ヤマトタケルが盛り込まれた、草
薙典龍と草薙麗堂の合体で、織り成されますまさに心に染みるCDです。
この度限定100枚を特別価格2500円で販売致します。



29年度総会の席上にて会員よりお祝の花束贈呈、喜びの草薙ご夫妻

注文先 = ヴォックス吟詠会総本部事務所

TEL-090-1419-1119(直通) FAX-052-682-1549

〒456-0031 名古屋市中熱田区神宮2丁目2-8 草薙典龍宛





片倉清彭(清風)

信越地区

漢詩一題



「漢詩」

因戲曲真田丸而訪上田城址

(下平声八庚韻)

北太郎南美 擁山曲水清 卜崖樓一擲 安計必蒼生 英斷縱橫重 臣之專赤誠 誰長容繼語 噫敏上田城

平成二十八年五月二十九日 (清風) 片倉清彭 作

「訓読」

ドラマ さなだまる ちな うえだじょうし たず
戲曲 真田丸に因みて上田城址を訪ぬ

きた たろう みなみ うつくし やま よう
北に太郎 南に美 山を擁して 曲水 清し

がけ ぼく いってき ろう はか かなら そうせい やす
崖にトす一擲の樓 計るに必ず蒼生の安からんと

えいだん じゅうおう おも しん これ せきせい もつぽ
英断は縦横を重んず 臣は之 赤誠を専らにす

だれ とこし まさ かた つつ ああ びん うえだじょう
誰か長しえに容に語り繼ぐべし 噫 敏なるかな 上田城

「語釈」上田城—現在の長野県東部に位置する上田市にあった真田氏の居城。千曲川の川岸段丘上に築かれた平城で天正十一年(一五八三年)の・四三三年前)に真田昌幸が築城した。太郎—太郎山。美—美ヶ原高原。

曲水—千曲川。ト—占う。一擲—のるかそるか思い切って事をする。一擲乾坤を賭す。樓—城楼。物見やぐら。

計—作者が推測する。安必蒼生—きつと人民が安泰であるであろうと。英断—領主、君主のすぐれた英断。

縦横—合従説と連衡説。中国の戦国時代の故事。強大な国を相手に他の国同士が互いに同盟を結んでこれに対抗するか、強大になった国と同盟を結んで他国を侵略していくか、の選択する事。策士たちの舌先三寸。臣—臣下。けらい。之—英断を下した領主、君主に対して。噫—ああ。嘆息・驚嘆・悲痛・賞賛などの声。

「雑記」戦国時代の領主はどこかずる賢しさがなければ生き抜くことが出来なかったのか、今の世の人間社会も同様な気がしてならない。これも生存者の本性なのかも知れない。NHKドラマの真田丸に因んで、山を隔てた隣町の上田市へ清流会師範会の有志で日帰り旅行をしました。近頃は国内の観光地は外国人の観光客が目立って多くなっています。ドラマ館を見学する前に戦国時代に建造された一つの物見やぐらに足を運びましたが、早かったせいかお客も少なくゆっくり見学できました。崖の上に建造された楼ですから、下を覗くと敵が下から攻め寄せて来ても容易には陥落されない感覚でした。戦国時代の事ですから領主の英断は見事的中したのでしょうか。竹田家の滅亡の後数々の戦功により天下に武名を知らしめたことは日本の戦国時代の歴史の一つとして長く語り継がれる事でしょう。一日の有意義な旅を企画して頂いた幹事会の役員各位には心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。拙詩を御覧いただければ幸いです。



平成30年度吟詠コンクール課題吟



	吟 題	作 者
1	冬夜書を読む	菅 茶山
2	舟大垣を發し桑名に赴く	頼 山陽
3	蘇台覽古	李 白
4	峨眉山月の歌	李 白
5	胡隱君を尋ぬ	高 啓
6	富士山	石川丈山
7	九段の桜	本宮三香
8	獄中の作(二十六年)	橋本左内
9	時に憩う	良 寛
10	楠公を詠ず	日柳燕石
11	和歌・俳句	自作を除く



平成29年度 第38回全国吟詠コンクール決勝大会
平成29年10月22日(日)開催・会場は名古屋市教育センターホール

CD発売

平成28年度決勝大会優勝者・準優勝者吟詠集

お買い求めは 総本部事務局まで

ヴォックス音楽吟詠会 ホームページご案内

<http://www.VOX-ginei.com>